



# 町長就任あいさつ 小野町長 大和田 昭

陽春の候、町民の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたびの町長選挙におきまして町民の皆さまの信託をいただき、無投票で再選の栄に浴し引き続き二期目の町政の重責を担うことになりました。

もとより微力ではありますが、多くの皆さま方よりお寄せいただきましたました信頼と期待にこたえるべく、新たな決意と情熱をもって農商工の調和のとれた町づくりを「オール小野町」で積極的に推進し、町民の望むまちづくり実現のため町政執行に全身全霊を捧げ取り組んでまいりる覚悟です。

一期目の4年間同様、何卒今後とも、なお一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## ◎一期目の総括

一期目の4年間でありましたが、私が就任したのは、平成25年3月

であり、東日本大震災からの復興に關しては、生活に必要なインフラはほぼ復旧していたものの、原発事故による風評被害や放射能汚染による健康不安などで町は閉塞感に包まれておりました。

私は、元氣な小野町、そして風評被害の払拭と安全で安心できる生活を一日も早く取り戻すため、役場内の改革、除染対策に取り組ましました。

次に、農業・商業・工業の調和の取れた活力あるまちづくりを目指し、各産業の支援策の拡充と、企業誘致を行いました。

このほか、定住人口の増加対策のため、町営住宅の長寿命化計画策定、整備、町民の安全安心の確保のため、臨時ヘリポートの整備や右支夏井川の河川改修をはじめとする消防・防災体制の強化を推進しました。

震災からの復興も一段落してきた平成27年度からは人口減少対策に重点を置き、子育てしやすいまちづくりを第一の目標に掲げ、結

婚・出産・子育ての各段階において切れ目のない、質の高いサービスが提供できるよう平成28年度に子育て支援課を創設し、住民ニーズに応じた施策の速やかな実施を図ってまいりました。

一方で、地方創生では子育て支援の充実を第一の目標に掲げ、各種事業に取り組んできましたが、認定こども園の整備や公立小野町地方総合病院の常勤医師確保、夜間・救急受け入れ態勢の構築など実現には至っておらず、二期目の課題となっております。

小野町のさらなる発展のためには、これら課題の解決に向けて、なお一層の努力と施策の着実な推進が必要であると考えております。

## ◎二期目の抱負

私は、町長就任以来現在まで、政治信条である「町民が主役のまちづくり」をモットーに町政を進めてまいりました。引き続き「町民本位」の基本姿勢でまちづくりにあたるため、町民の声に常に耳を傾け、町民の望むまちづくりに努力してまいりたいと考えております。

その中で将来を見据え、「町民」「地域」が輝く元氣な町を目指し、活力ある地域を維持していくためには、重要課題として大きく捉えております人口減少対策について「小野町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく事業を着実に実施し、人口減少速度の減速を図っていく必要があります。

具体的には、医療と福祉の更なる充実について、公立小野町地方総合病院の常勤医師確保と夜間・救急患者受け入れ体制の実現を目指します。子育て支援については、認定こども園の整備を進めるなど、子育てしやすい環境づくりに努めます。このほか、障がい者や高齢者の福祉向上、特に高齢者の健康寿命延伸に係る事業への取



3月23日初登庁